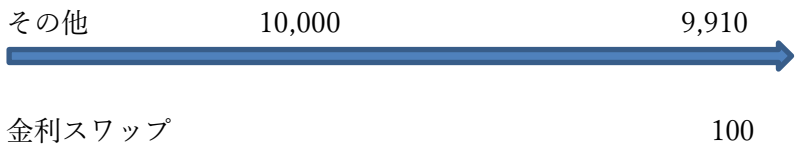
# 第25回－建設業経理士1級試験

**直前期に見ておくと良い過去問**
**（過去問は公式サイトよりダウンロードしてください）**

＜財務諸表＞

第20 回4 問　デリバティブ




＜考え方（税効果抜き）＞

その他有価証券評価差額金 90／その他有価証券 90（原則：全部純資産）

金利スワップ 100／スワップ評価損益 100（原則：時価評価）

＜繰延ヘッジ＞評価損益をＰＬにのせない

その他有価証券評価差額金 54／その他有価証券 90

繰延税金資産 36

金利スワップ 100／繰延ヘッジ損益 60

繰延税金負債 40

いずれも
ヘッジ手段（金利スワップ）と
ヘッジ対象（有価証券）を同一
評価とする

＜時価ヘッジ＞評価損益をＰＬにのせる有

価証券評価損益 90／その他有価証券 90繰延

税金資産 36／法人税等調整額

金利スワップ 100／スワップ評価損益 100

法人税等調整額 40／繰延税金負債 40

＜財務分析＞

第24 回4 問　ＣＶＰ分析（難問）

難しい問題ですね。安全余裕率の定義が 2 種類あるようです(建設業会計概説より)

①安全余裕率＝（売上高－損益分岐点売上高）／売上高

こちらは一般的なパターンですね

②安全余裕率＝売上高／損益分岐点売上高

こちらは、損益分岐点の何倍の売上高があがっているかを表す方式になります

何となくイメージできますね。次回以降出題の場合はこれも押さえておきましょう。

（日商１ 級・全経上級・診断士も含めてはじめてみた式です）

問1→28,644,000／損益分岐点売上高＝108.5%　∴ BEP＝26,400,000

問2→資本回収点（変動的資本と固定的資本がわかれば後は普通の計算式）

総資本回転率 1.2 回より総資本＝23,870,000

変動資本＝17,902,500　固定資本＝5,967,500

資本回収点→Ｘ－Ｘ＊17,902,500／28,644,000－5,967,500＝0　∴Ｘ＝115,913,333.333

問3→26,400,000－26,400,000＊Ｘ％－9,240,000＝0　∴Ｘ＝65%

∴変動費＝28,644,000×0.65＝18,618,600

問4→Ｘ－0.65Ｘ－9,240,000＝1,050,000　Ｘ＝29,400,000

問 5→Ｘ－0.65Ｘ－9,700,000＝0.1Ｘ　∴Ｘ＝38,800,000

＜原価計算＞

第20 回3 問　工事進行基準（逆算問題）

請負額 60,000

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①累計売上 | 18,000 | 36,000 | 48,000 | 60,000 |
| ②当期売上 | 18,000 | 18,000 | 12,000 | 12,000 |
| ③当期原価 | 15,600 | 15,900 | 10,500 | 11,000 |
| ④累計原価 | 15,600 | 31,500 | 42,000 | 53,000 |
| ⑤進捗率 | 30% | 60% | 80% | 100% |

進 捗 率　＝累計原価／見込原価→見込原価＝累計原価÷進捗率

| | | | |
|---|---|---|---|
| ⑥見込総原価＝ | 52,000 | 52,500 | 52,500 |
| **期末見込＝(⑥－④)** | **36,400** | **21,000** | **10,500（解答）** |